ユーザーズ マニュアル
USER'S MANUAL
X68000
5"2HD
2枚組
IX68-02
サウンドテスト機能付き
ジョイスティック使用可能
イメージファイト
IMAGE FIGHT
TM
irem
IREM CORPORATION
©1990 IREM CORP.

緊急事態発生!!

21st Century……。

東西陣営の果てなき競争は絶える事なく続いていた。互いにわずかでも敵よりも軍事的優位に立たんとした技術開発も無論例外では無かった。

20世紀終盤に、時のアメリカ大統領により始動したSDIが結実し、人類の歴史以来の処女地であった宇宙もまた戦いなき戦場と化した。さらにSDI計画は歴史の語る通り様々なテクノロジーを生み出し、それを呑み込んだ巨大なテクノロジーの集積場と変貌した。超LSI、超硬セラミック、月面ベース、スーパーAI、サイバー接続子……。

特に核融合エンジン開発について、日本というバックボーンをもった西側は、その実用化に於いて、僅かながら優位に立った。

それらすべてのテクノロジーを統合し、2043年、ジェネラル＝ダイナミック＝ミツビシ社は遂に汎用軌道戦闘機X－42の開発に成功した。ここにおいて人類は単独大気圏離脱及び突入能力を持った戦闘機を手にしたのである。これはまさにSDI構想における究極の兵器と呼ぶ事ができた。しかし、その操縦技術は従来の戦闘機とは及ぶべくもなく高等となった。さらに、サイバー接続子の採用により思わぬ弊害があらわれた。あらゆる制御系コンピューターと電脳空間〈サイバースペース〉を通じてバイオフィードバックを可能としたサイバー接続子ではあったが、体質により強烈な拒否反応を現わしたのである。その結果、ロールアウトした完成機、Orbit Fighter－1〈ダイダロス〉のパイロット

は、ただ単に操縦技術のみではなく、あらゆる体質検査にパスした先天的な素質ーライトスタッフーを持つ者にのみ与えられる称号となった。しかし、そのような者達にとっても無重量空間における戦闘という極めて特殊な状況に対応する訓練は凄絶を極めた。電脳空間内で繰広げられる模擬戦闘はシュミレーションの域を超え、まさに実戦であった。中にはサイバー接続子のパルスの逆流により脳を破壊された結果、死にいたる者も出、脱落者は後を絶たず、初年度の訓練生も今や残るは僅か一桁となった。それでもここに世界精鋭のパイロット集団は誕生しつつあり、これにより西側は制宙権に王手をかけた。しかし、侵略者は彼等の考えたいかなる仮想敵国でもなかった。そしてそれは異常なほど唐突に始まった…。まず、月が砕けた。

2048年４月23日、西側のムーンベース三箇所が同時に大爆発を起こした。原因は核融合炉の暴走であった。しかも運悪くその日は反応剤の交換日で普段の倍以上のヘリウム３が基地内にあった。巨大な爆発は月を四つの破片ーそれぞれＭ１からＭ４と命名されたーと無数のアステロイドと化した。この爆発の際、強烈な電磁破が地球を襲い（南極条約で禁止されている“核の宇宙空間への持込み”に対する疑惑が、再びとりざたされたが西側はこれを否定した）地上のコンピューターネットワークに甚大な被害を与えた。これにより地球ではキャッシングシステム、交通信号から果ては早期警戒システムまでコンピューターに

依存したあらゆるシステムが停止した。バックアップシステムへの切替えは早急に行われたがそのタイムラグはいかんともしがたいものがあった。侵略はその間に始まったのである。
まず軌道工業プラントS－21が正体不明の戦闘機の攻撃を受け、そこに従事する203人全員が死亡した。その後もいくつかの軌道プラントが攻撃を受け破壊された。軌道工業プラントS－16が攻撃を受けたのは2048年6月3日であった。修復完了した早期警戒システムはそれをいちはやくキャッチし、迎撃衛星IS-32を向かわせた。善戦空しくプラント、迎撃衛星ともに全滅したが、戦場から貴重な映像が送られて来た。その映像に映っていたのはまぎれもなくムーンベースに配置された無人迎撃戦闘機の姿であった。時を同じくしてムーンベースの事故の実態を記録せんと撃ち込まれた偵察衛星の送って来た映像にも驚くべき物が映っていた。妖しげな輝きを持つ植物がムーンベースのマザーコンピューターにからみつき、その様はまさに寄生しているようであった。国連安全保証理事会はこの事態を重視し各国代表を招集、緊急総会を開いた。総会は夜を徹して行なわれ、その結果各国の利害をも越えた結論を導き出した。今回の事態はムーンベースのマザーコンピューターが未知の植物（一部の学者はこの植物は珪素生物であり人類が初めて接触する異星生物－エイリアンの侵略であると主張した）の侵入により暴走しその結果起った不幸な事故で、融合炉爆発もこれに付随したものであるとし、各国はこれに対し全力をあげて事態の収拾にあたる、これが国連本部の出した結論であった。早速、事態を収拾すべくいくつ

かの計画が実行されたが全て失敗におわった。マザーコンピューターの自爆装置はすでに地上からのコントロールを失い、突撃衛星による攻撃も機動性が桁違いの無人迎撃戦闘機の前では標的となるのみであった。その間にも軌道上のステーションに被害は広がり、またムーンベース所属の作業用ロボットが攻撃が目的と思われる新たなステーションの建造を行なっているという情報も入ってきた。この状況において、M空間への直接攻撃が行なえる兵器は、唯一西側のOF－1〈ダイダロス〉のみであった。しかしパイロットの訓練は完璧と言うにはほど遠かった。時間さえあれば…そんな対策委員会の想いをあざわらうかのように一つの情報がはいってきた。マザーコンピューターが地球にアステロイド落としを画策している。もはや猶予はならなかった。これは戦争である。ダイダロス計画訓練生に対しM空間攻撃の志願者が募られ、全員が志願した。対M空間特別攻撃部隊「ストライカーズ」。それが彼等に与えられた名であった。

「プロジェクト　ストライカーズ」

第一攻撃目標　軌道上戦闘ステーション
第二攻撃目標　アステロイド落下計画旗艦
最終攻撃目標　ムーンベース内マザーコンピューター

人々の望みを託し、ストライカーズ編隊が宇宙へ向けて飛び立つ。それはまさにかかとに翼をロウ付けし、天へと駆け昇る伝説の巨人ダイダロスそのものであった。
ここに人類という種の存亡を賭けた戦いの幕は切っておとされた。

もくじ CONTENTS

遊び方 ——— HOW TO PLAY

ロード方法

0のディスクをドライブ0に、1のディスクをドライブ1に挿入してください。
電源を入れれば自動的にスタート（オート・スタート）します。

1. キーボード、ジョイスティック（ジョイパッド）のどちらでもプレイできます。
2. モードセレクト画面でCRT MODE、LEVEL、SHOTの設定とSOUND TESTが行なえます。
3. プレイヤー機の台数は3機です。
4. プレイヤーは、敵や敵の撃った弾、地形に当ると爆発して1機失います。
5. プレイヤーは、ショット、ポッド、特殊攻撃パーツを上手く使いプレイしてください。
6. ゲームを一時中断（PAUSE）する時は ESC キーを押して下さい。
ゲームを再開する時はもう一度 ESC キーを押して下さい。

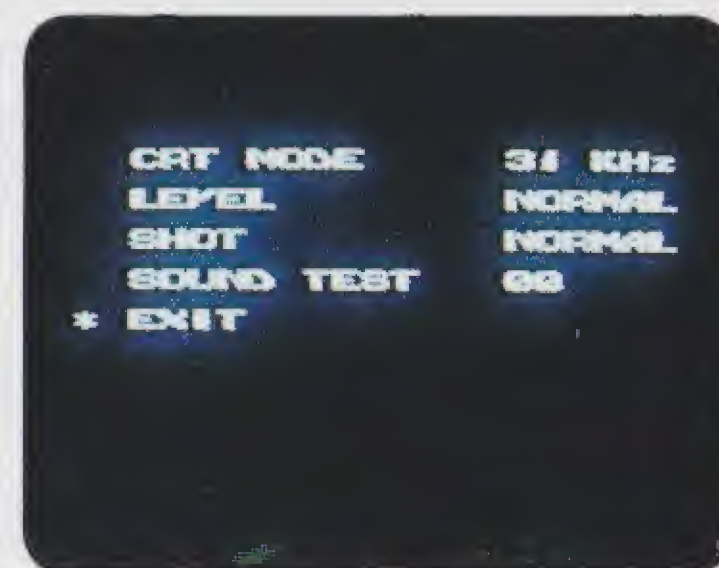
画面表示

操作方法 OPERATION

ゲームスタート

タイトル画面で PUSH START BUTTONを選び [スペース] キー、もしくはトリガーでゲームスタートです。

モードセレクト

タイトル画面で MODE SELECT を選び [スペース] キー、もしくはトリガーでモードセレクト画面が表示されます。

CRT MODE

ディスプレイモードの切り替えです。
31KHzと15KHzがあります。

LEVEL

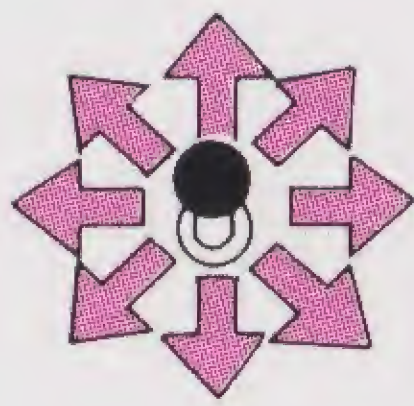
難易度を選ぶことができます。
4つのモードから選択してください。

易しい ←→ 難しい
EASY, NORMAL, HARD, VERYHARD

SHOT

オートショット…ショットボタンを押しつづけると自動的に連射できます。
ノーマルショット…あなたの腕がためされます。

SOUND TEST

BGM、効果音のテストモード。
[スペース] キー、もしくはトリガーでイメージファイトのいろんな曲が聞けて楽しめます。

EXIT

[スペース] キー、もしくはトリガーでタイトル画面に戻ります。

テンキー[8][2]キーまたはジョイスティックのレバーを上下させてモード選択してください。
[6][4]キーまたはジョイスティックの左右で設定します。

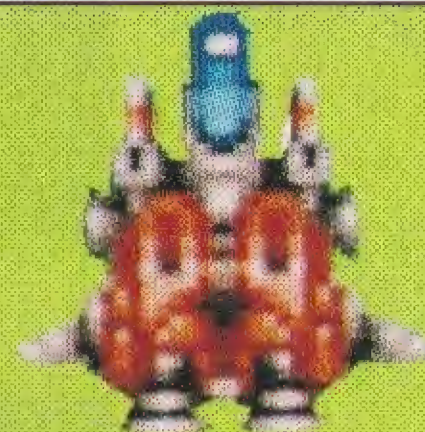
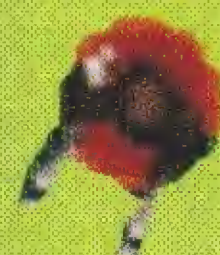
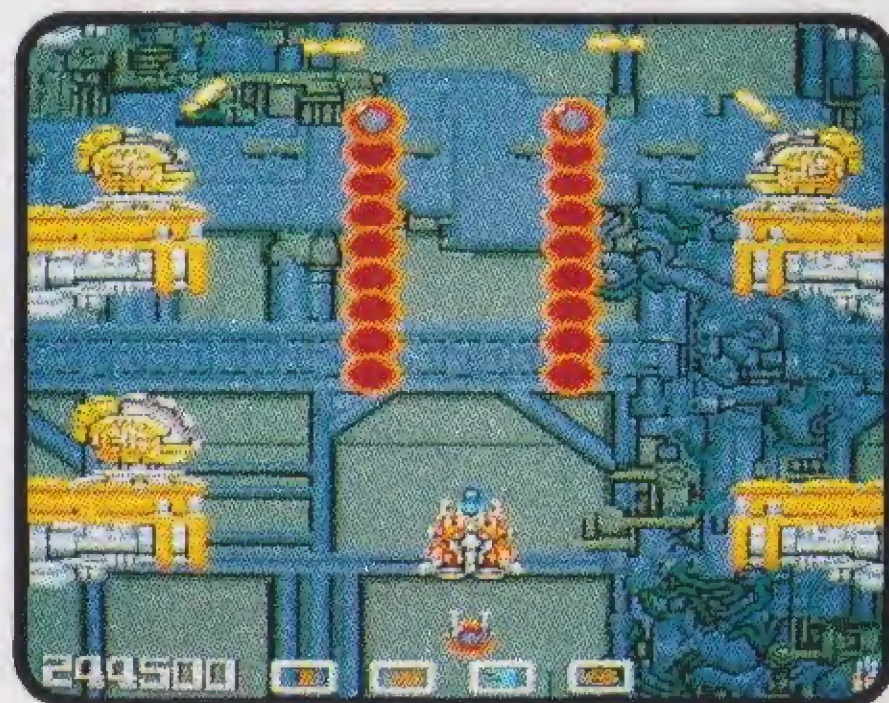
操作キー　プレイヤー(OF-1 "ダイダロス")

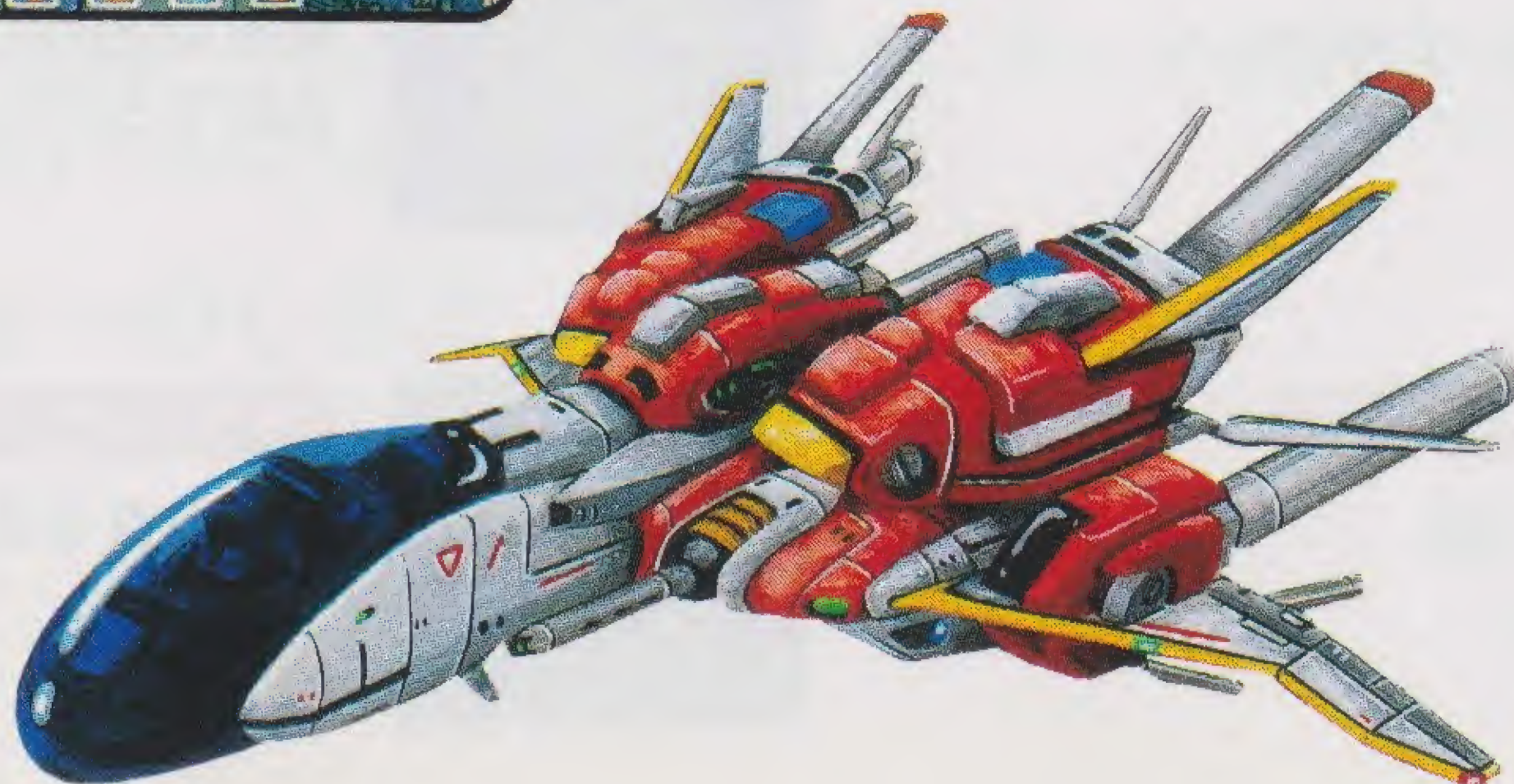
操　作	キーボード	ジョイスティック
8方向移動	(カーソルキー) (テンキー) 7 8 9 / 4 6 / 1 2 3	(レバー)
ショット	[スペース] キー	トリガーB
スピードチェンジ	[XF2] キー	トリガーA
ポッドシュート	[スペース] キー+[XF2] キー	トリガーA+B

※PAUSEは[ESC]キー(解除も同じ)で行なえます。

パワーアップアイテム ―― POWER-UP ITEMS

★ポッドはうまく選べ

レッドポッド
方向キーと反対に向き、
16方向攻撃可能。

ブルーポッド
前方に固定して攻撃。

ポッドは最大3体つけることができる。
3体つけている時にポッドをとると、
3体一度にポッドの色が変わる。

ポッドシュートだ！

ポッドをつけている時、［スペース］と［XF2］を同時に押す（ジョイスティックの場合トリガーBとA）とポッドを飛ばすことができるぞ。
うまくコントロールすればプレイヤーの死角にいる敵も楽に倒せる高度な技だ。

POW(パウ)ボックスを破壊せよ！ アイテムが出現するぞ!!

★特殊攻撃パーツは状況に応じてつけかえろ！

バ　リ　ア

ショットボタンを押しっぱなしで使う。

反射ボール

壁にあたるとはね返るボール弾。

サーチレーザー

敵を探知して直角に曲がるレーザー。

バルカン7

7方向に弾を発射する。

ドリルレーザー

前方のみを攻撃する強力レーザー。

リングレーザー

次第に広がるレーザーを広範囲に撃つ。

Vバルカン

左右前方にV字状に弾弾を発射する。

サーチミサイル

敵を自動的に追尾するミサイル。

サ　イ　ド

左右に弾を発射する。

テクニック　TECHNIC

★バックファイヤー

スピードチェンジをした時、プレイヤーの後から
バックファイヤーが出る。このバックファイヤーで
敵にダメージを与えることができるぞ！

★パーツのつけかえ

パーツのつけかえは装着中のパーツを壊してからのみ変更可能。

パーツの壊し方	
	その１…敵の弾にあてる
	その２…地形（壁など）にあてる
	その３…ＰＯＷボックスにぶつけて壊す
	その４…耐久力の少ない敵にぶつけて敵とパーツを同時に壊す

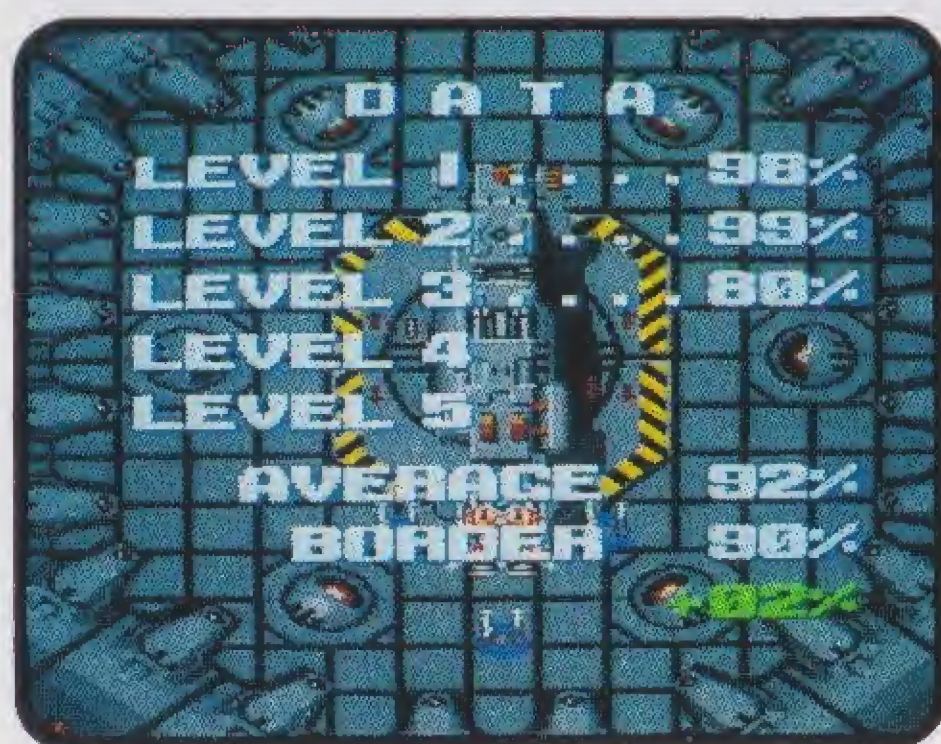
★ポッドシュートは有効に使え

ポッドを飛ばしている時にプレイヤーを動かすと、ポッドを誘動することができる。
うまい使い方を研究してみよう！！

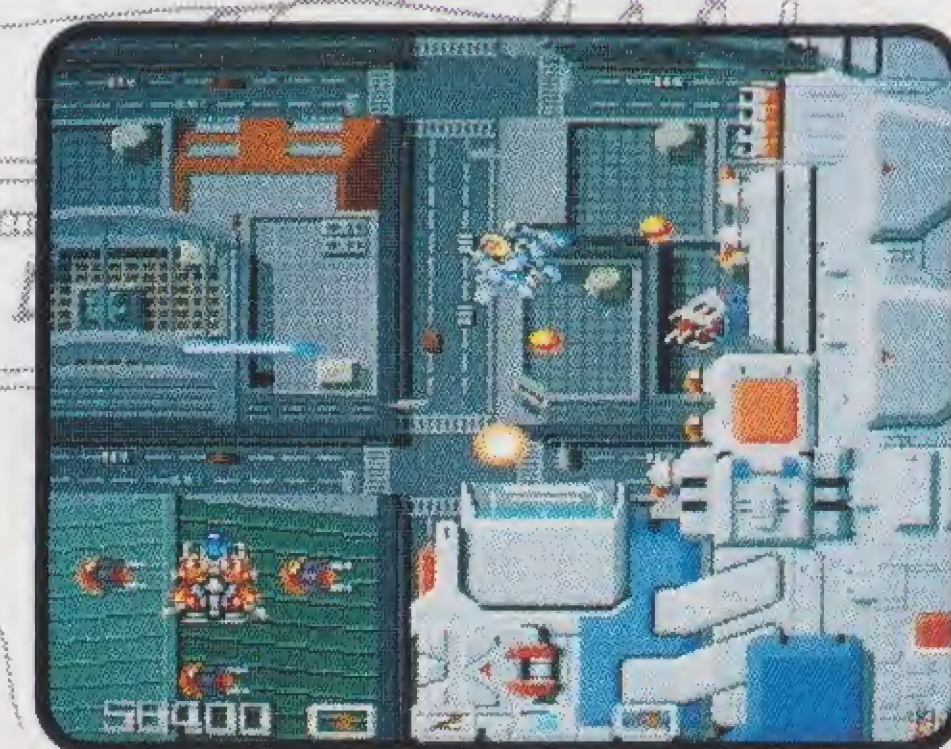
★コンティニューのしかた

ゲームオーバーになるとコンティニューの画面が現れる。
［スペース］もしくはジョイスティックのトリガーで
何度でもコンティニューできる。

戦闘シミュレーションステージ

5ステージクリア後、各
90パーセント
次のステージは補習
見事90％以
パイロットだけ
へ進むこと

各ステージエリア後には訓練の成績を示す破壊率がパーセンテージで表示される。
合格ラインは90パーセントだ。

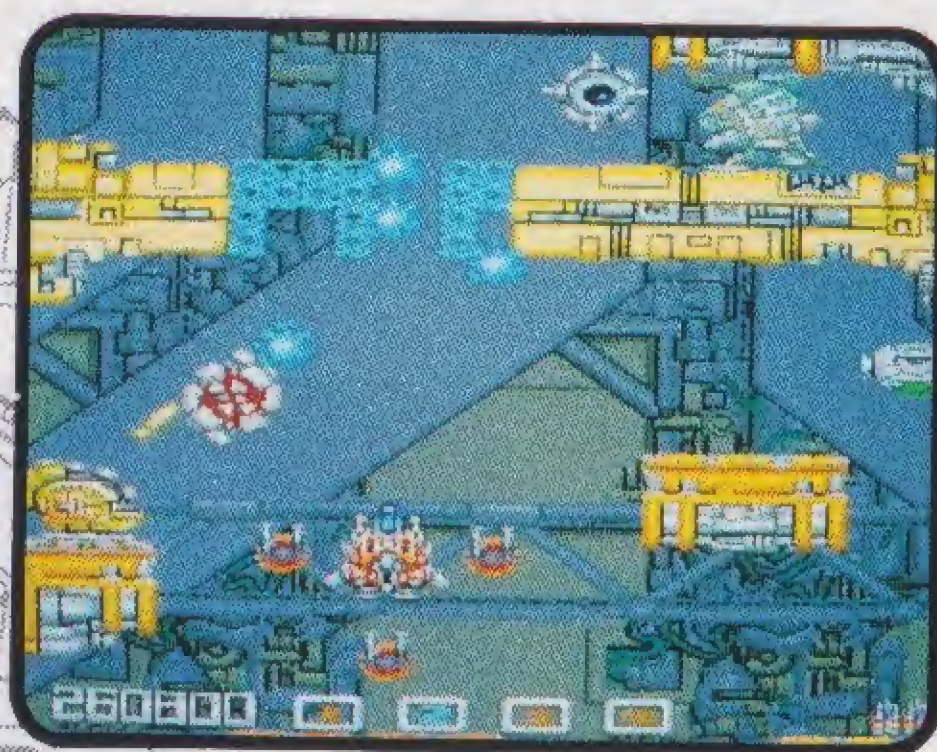
ステージ1

敵基地上空を飛行する。様々な種類の敵が次々に現れる。ボスはLINDA。リング状のレーザーを吐いてくる。

ステージ2

巨大戦艦との対決。迫り来る母艦にはたくさんの砲台があり、ハッチから敵が飛び出してくる。ボスのJURRYは正面からの攻撃をうけつけない。

ステージの破壊率の平均が
に満たない場合、
ステージとなる。
上クリアした
が実戦ステージ
ができる。

ステージ3

敵に占拠された資源採掘場跡を進む。複雑な地形にはあらゆる型の砲台が待ちうけている。
ボスはMICHEL。曲折レーザー攻撃をしてくる。

ステージ4

軌道エレベーター内部を上昇する。
放物弾を撃つ砲台や、歩行型ロボット、電磁網が行く手をはばむ。
ボスBOYのミサイル攻撃をよけきれるか!?

ステージ5

外惑星生物の巣窟。前方が固い殻で守られた生物スキュラや巨大蛇メドゥーサが現れる。
ボスのTAROはプレイヤーを押しつぶしてくる。

電脳空間(サイバースペース)内で繰り広げられる飛行訓練だ!

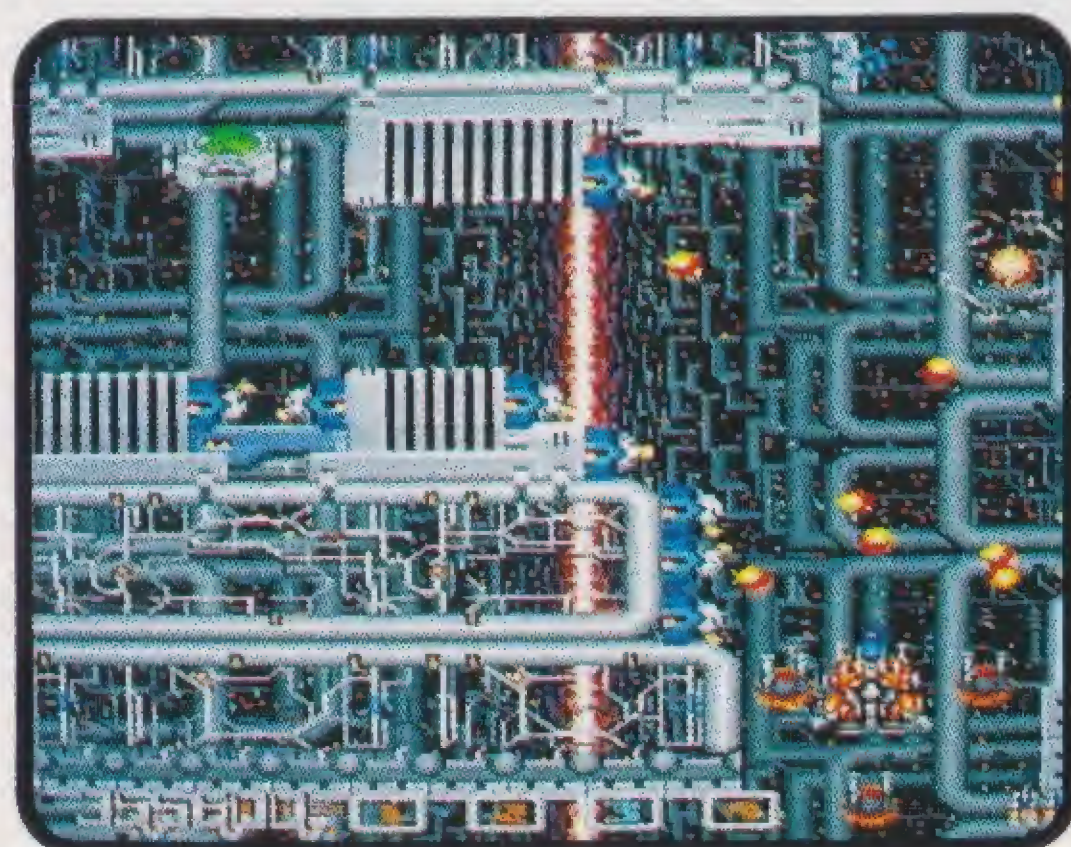
実戦ステージ —— REAL FIGHT

訓練ステージをパスした君はいよいよこの「プロジェクト・ストライカーズ」に参加することができる。攻撃目標は次のとおりだ。幸運を祈る。

第一攻撃目標:軌道上戦闘ステーション

カタパルトを出ればもうそこは戦場だ。
建設中のステーション内部は通路が
狭くなっている。ステーション防衛システム
NANCYの攻撃をかわせ！

第二攻撃目標:アステロイド落下計画旗艦

くだけた月のアステロイド地帯だ。
大量に降ってくる隕石につぶされるな！
敵旗艦SHINJI を破壊し、地球への
アステロイド落しを阻止せよ!!

最終攻撃目標:ムーンベース内マザーコンピュータ

いよいよ月基地内に潜入。
そこではどんな戦いが待ちうけているのか？
不気味な生物にとりつかれたマザーコンピュータ
MARIKOをうち砕け!!

このたびは、アイレムの「イメージファイト」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの説明書をお読み頂きますとより楽しくプレイできます。正しい方法でご愛用下さい。又、製品には万全を期しておりますが、万一ディスクのトラブル等がございましたら以下の処理を行なって下さい。

使用上の注意

■プログラムがロードしない場合

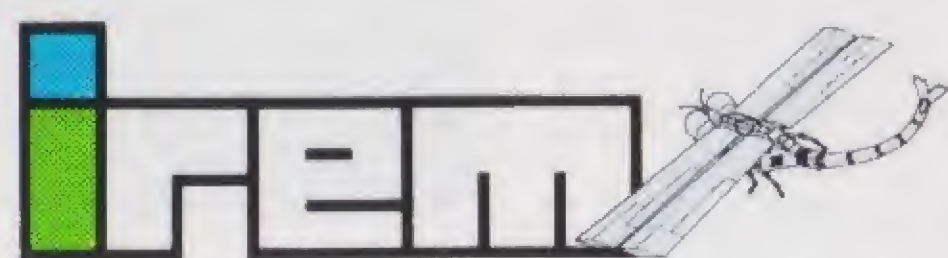
プログラムが正常に動かなかったり、ロードできなかったりした場合は、もう一度マニュアルのロード方法をお読みになり、再度お確かめ下さい。それでもプログラムが正常に動かない場合は、お手数ですが当社までディスクと必要事項を書き込んだユーザーズサポートカードをお送り下さい。チェック後、不良の場合は新しい物とお取り替え致します。

■ディスクを壊してしまった場合

もし、お客様の操作ミス等で、ディスクが壊れてしまった場合は、壊れたディスクと、修理費として現金1,500円そして、必要事項を書き込んだユーザーズサポートカードをお送り下さい。新しい物とお取り替え致します。

■お願い

- 交換・チェックご希望の場合は、必ずユーザーズサポートカードに必要事項をお書きの上、ソフトと共にお送り下さい。
- 顧客カードはご記入の上、必ずご返送下さい。顧客カードが返送されていませんと上記のサポートが受けられない場合があります。

（宛先）
〒550 大阪市西区阿波座２丁目２番18号 西本町川渕住生ビル
アイレム株式会社X68000「イメージファイト」サポート係

〒550 大阪市西区阿波座2丁目2番18号 西本町川渕住生ビル 06(535)4888

●ゲームに関するお問い合わせは 06(534)1060までお願いします。
受付時間：月〜金(13:00〜17:00)